

見せたい物があります。これは何でしょうか？千円札ですね。これをこのようにクチャクチャにしたら…。どうなるのでしょうか？変わらずに千円札ですよ。千円の価値は変わらない。もし火をつけて燃やしたら千円の価値はなくなりますが、燃やされる前は千円です。もちろん何百年経ったら千円の価値はなくなり、お金としての価値もなくなるかもしれません。とにかく今、これはクチャクチャになっても、新品でも、踏まれても千円です。

まして人間はどうでしょう。人間には心があります、霊魂があります。神様の姿と似た模様に造られたと聖書は話しています。私達の価値は薄くなったり、濃くなったりするのでしょうか。人間である私達、皆様の価値は絶対変わりません。尊い価値、神に愛される価値。ただ私達の人生には紆余曲折があります。倒れたり、難しいことを乗り越えたり、希望したり、またころんだり。人に刺され傷つけられたり、踏まれたり、無視されたり、たまには人を無視したり。しかし、自分も相手も価値は変わらないのです。

新聞やテレビのニュースを見ると、腹が立つくらい自殺する人が多すぎる。自分の命を自分勝手に切ってしまう。この頃風邪のようにはやっている病気はなんなのでしょうか？病院にいくとすぐ“うつ病”でしょう…。と言うんですよ。うつ病だ、うつ病だとししないで下さい。人間って落ち込むくらい憂鬱な時もあるし、飛びそうに嬉しい時もあります。自然な人間の感情の動きです。昔、貧しくて食べるものを探すに忙しかった時代には、こんな贅沢な病気なんてありませんでした。病気だ病気だと思っちゃうと本当に、病気に落ち入ってしまうんです。それは病気ではなくて、痛みです。誰でもそうゆうところを持っています。

皆様の価値は同じです。傷のない人がいるのでしょうか？私も傷があります。水商売する人だけ傷があるのでしょうか？みんな傷を持っています。しかし、神様にとってはみんな愛するかわいい息子、娘です。この意識が私達の中にきちんとあれば、たぶん相手に対しても勝手にできないでしょう。

さあ、隣の人をごらんになって下さい。皆様の目に入るこの方々は神様に本当に愛されている息子、娘です。その意識があれば自然に相手を尊重することができます。そして自分に対しても自分勝手に自分を使うことを避けられるはずですよ。

いつかは、私達は神様の前に立ちますよね。その時、神様がこのように言うのは確かだと思います。「私があなたに貸してあげた“あなた”をあなたはどのように使ってきたのか？」

「傷だらけです」

「その傷は誰がつけたのか？」

「わかりません」

お大事にして下さい。今日の福音の最後に「すべての人は神によって生きている」と書いています。ですから、皆様をお願いします。誰より何より自分を大切にして下さい。はっきり言わせていただきます。自分を大切にする方法やふるまいについてわかった人は、相手に対しても大切にする方法や意味をわかってきます。私達はいろいろなことで相手を指さしながら、あいつは、あの人は、と裁きます。面白い話があります。相手を指さして裁く時の指を見て下さい。人差し指は裁く相手に向かっていて相手を刺しています。中指と薬指、小指の3本は自分の胸に向かっていて自分を刺し、親指は上に向かっていて神様を刺しているんです。そうです、人を裁くのは結局相手だけじゃなくて、相手より自分を裁くこと、そして神様の心を痛めることになります。

私達は本当に大事なものです。なぜなら神様から愛されるものだから。人間の価値は人間がつけるものではありません。私達につけられた価値は神様がつけたものです。なぜ私達は自分の尊い価値を自分勝手に考えるのでしょうか。燃やされればなくなるこのお金も、燃やされる前は自分の価値を保ち増

す。まして皆様はどうでしょうか。

今日の福音を通して、私達が持っているいろいろな傷やいたみを、神様から頂いた悟りの機会だと思いながら、このミサを感謝の心で捧げましょう。私の中に傷があれば、その傷は神様しか癒せないことを信じながら、このミサを捧げましょう。そして、これから御聖体を頂きますね。何回も強調しながら申し上げましたが、先ず、すみませんという心を持ちましょう。

「申し訳ありません。一生懸命がんばろうとしたんですが、やっぱり罪の中にいます」  
次は感謝の心を持ちましょう。

「それでも、今日相変わらず、あなたは私の所に来て下さいました。感謝します」  
このふたつの心で御聖体を頂きましょう。

ありがとうございました。